

SRI LANKAN CORPORATE HEALTH & PRODUCTIVITY AWARD

スリランカ企業健康経営アワード

概要

従業員の健康と福祉の向上に取り組む優良な法人を選定し、「見せる化」していくことで、当該法人が社会的かつ経済的に評価を受けることができる環境を整備する。また、健康経営の普及により企業や従業員の健康投資を増大させ、同国におけるヘルスケア市場の拡大と高付加価値化に資する。

- 参加資格 : スリランカで登記された企業
 カテゴリー : 超大手、大手、中堅、中小・小規模企業の4カテゴリーごとに、ゴールド賞とシルバー賞を決定
 応募期間 : 2018年10月～12月に質問票提出
 審査方法 : 一次審査(書類審査)、二次審査(実地調査)
 審査委員 : COYLE^(※1)、ジェトロ、日立、日本スリランカ技術文化協会(JASTECA)、スリランカ政策研究所(IPS)、スリランカ医療協会(SLMA)
 アワード発表 : 2019年2月13日
 式典会場 : B.M.I.C.H exhibition & convention centre

- 主催 : COYLE、ジェトロ・コロンボ
 (※1) COYLE (The Chamber of Young Lankan Entrepreneurs) : スリランカ若手経営者協会
同国の有力な業界団体。政界へのコネクションも太く、同国産業政策に向けた提言活動も活発。会員企業の主な業種は貿易・サービス・製造・建設・観光・ITなど。若手経営者が多く、新たな価値創造に向け国際化、雇用安定、生産性向上の観点から「健康経営」にも関心が高い。

アワードの専用ロゴ
 受賞企業は1年間使用可能



アワード制度の基礎①
 BSI-PAS3002

- 日本の健康経営、データヘルスのエッセンスを抽出し、特定の国・地域の制度に依拠しない形で整理したもの
- 英国規格協会の協力を得て、産官学による作成委員会を組織し、公開文書として発行

アワード制度の基礎②
 健康経営銘柄

- 経済産業省が東京証券取引所と共同で実施。
- 従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業を「健康経営銘柄」として選定。
- 原則1業種1社